



# 8月えんだより

～笑顔あふれる  
育ちのひろば～  
令和6(2024)年8月20日  
社会福祉法人 見真会  
明光保育園

今年の夏は、青空が広がって、猛暑、酷暑の中、熱中症警戒アラートの発表が続き、特に体温調節の機能が未熟な子どもたちに対しては、熱中症による健康被害が発生しないよう、屋外活動の中止や水分の補給、休憩など体調の管理が重要になっています。

また、園内では手足口病が小さな子どもたちから徐々に園全体に広がっています。発疹のほか発熱や嘔吐、頭痛などの症状があり、まれに重症化することがあります。園内感染の拡大を防ぐため手洗いや排せつ物の適切な処理、タオルの共用を避けるとともに、発疹等の症状が出たときには医療機関を受診させるようお願いいたします。(小児救急医療電話相談は、#8000です。)

園では8月6日(火)の「平和の日のつどい」に向けて、3歳以上児を中心に、みんなで平和について考える取組みを行ってきました。子どもたちに平和について聞くと「みんなが幸せ」「戦争したらいけない」「怖い思いをしたくない」「喧嘩をしない」「爆弾を落とさない」など、子どもたちの思いが出てきました。日頃から、今の自分たちが平和に向けてできることは「笑顔で過ごす」「誰とも仲良くする」「命を大切にすること」などの多くの意見が出て、平和についていろいろな思いを寄せ合うことができました。

79回目の広島原爆の日には、おり鶴を持って、海田町の戦没者・原爆死没者慰霊塔に行き、「みんなと仲良くすること」や「みんなの命を大切にすること」を誓いました。原爆の被害は、あの日だけの惨劇にとどまらず、放射線による心的、外的被害は、今もなお人々を苦しめ続けています。被爆の体験を後世に引き継いでいくことも、広島で暮らす私たちの役割と考えます。

この夏は、フランスのパリで平和の祭典であるオリンピックが開催されました。選手たちの熱い戦いが繰り広げられ多くの感動と勇気をもたらしたことと思います。世界中では今なお戦禍が絶えません。オリンピックをとおして、世界がつながり、人たちが手を取り合って、助け合い、学び合い、世界中のすべての人々が、笑顔あふれる平和の日々が訪れることを願います。給食では、フランス・ウィークを実施しました。



## 7月26日(金) 白組 ティキャンズ 開催!

～思いやり、助け合い、行動する～ の年間目標の下、誰もが「仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦・協力し、やり遂げられる」子どもに成長することを目指して取り組みました。

子どもたちが主体的にティキャンズを楽しむことを提案し、話し合い、グループづくり、買い物などの準備を進めました。この中で、一人ひとりの思いや意見を受け入れ、仲間と一緒に挑戦・協力して、仲間を思いやる優しい気持ちが育まれ、固い絆で結ばれました。また、自ら考え、行動し、やり遂げることが自信となり、達成感が幅広い好奇心や意欲、挑戦心につながっています。

- ・夏祭り、盆踊り
- ・クッキング、水遊び
- ・グループ別特技発表
- ・昔話シアター
- ・宝探しゲームなど



## 〈 9月9日は救急の日！ 子どものけがを防ぎましょう 〉

乳幼児期は、転んだり、どこかにぶついたり、いろいろなけがをしやすい時期です。子どものけがを防ぐためには、けがにつながりそうな原因を取り除き、子どもに予防策を伝えることが大切です。

また、けがをしてしまった時には、応急手当などの対処をお願いします。

### < 切り傷・すり傷 >

水道水で傷口の汚れをしっかりと洗い流します。清潔なガーゼを当てて圧迫して止血します。その後、ばんそうこうや包帯などで固定しましょう。

### こんな時は医療機関を受診!

大きい傷や深い傷がある。手や指が腫れて、痛みが強い。

### < やけど >

やけどをしたら、すぐに流水で20分は冷やしてください。服の上から熱湯などを浴びた場合は、着衣のまま流水で冷やします。

こんな時は医療機関を受診! 面積が広い時: 冷水で20分間冷やし、すぐに受診。顔や頭・指の関節: 範囲が小さくても受診。

### 発熱・頭をぶつけた・嘔吐などで心配な時には小児救急医療電話相談 #8000

毎日 19時00分～翌朝8時00分  
※土日祝・年末年始は、17時00分～翌朝8時00分



出典：2024(令和6)年9月 ほけんニュース9月号 少年写真新聞社ほか

～「中秋の名月(ちゅうしゅうのめいげつ)」を見てみよう!～  
旧暦の8月15日の夜に見える月を「中秋の名月」と呼びます。今年、9月17日(火)、秋の収穫を神様に感謝するお祭りともつながっています。園では、9月13日(金)に「お月見の会」を開きます。



日	月	火	水	木	金	土
18 休日保育	19	20 体操のひろば (青・黄組)	21 避難訓練 (火災)	22	23 8月の誕生日会	24 
25 休日保育	26 沐浴 水遊び納め 身体測定週間	27 体操のひろば (白・桃組)	28	29 茶道のひろば (白組)	30 8月の誕生日会	31
9月1日 休日保育	2 調整会義	3 体操のひろば (青・黄組) 海田西中職場体験	4	5 避難訓練 (地震)	6 幼児会義 乳児会議	7
8 休日保育	9	10 体操のひろば (白・桃組)	11 運動会練習 (白・青・黄組) (スクエア)	12 避難訓練 (火災)	13 お月見会 9月の誕生日会	14
15 休日保育	16 休日保育	17 体操のひろば (青・黄組)	18 運動会練習 (白・青・黄組) (スクエア)	19	20	21

園だより担当  
園長代理:原田

電話(082)824-7801 (URL) <https://kenshin-meikou.jp>  
FAX(082)824-8030 メールアドレス [info@kenshin-meikou.jp](mailto:info@kenshin-meikou.jp)



## 子どもの姿と子どもの育ち（園児95人）

### ～笑顔あふれ、元気に育つ～ ひよこ組【0歳児 8人】担任:奥崎 副担任:蒲生

『愛情を受け止め、五感を磨き、全身を使って思いを表現できる』子どもを目指します。  
子どもたちには、ゆとりをもって、一つひとつの仕草から思いを受け止め、「そうだね」「よかったね」などと声を掛け、スキンシップを重ねながら愛着関係を深めています。  
子どもたちは、保育士を安全の基地として、安心して眠ったり、食べたり、つかまり立ちや歩行、おもちゃで遊びながら、行動範囲を広げ、誰もが「したい」「好き」「嫌い」などの思いを、自分なりの声や表情、全身を使って表現できるようになっています。  
子どもたち一人ひとりのたくさんの気持ちや欲求を受け止め、優しい声掛けや手を添えながら、見る、触れる、動く、聴くなどの探索活動の幅を広げる支援をしていきます。

### ～自分の思い、いっぱい育む～ 赤組【1歳児 17人】担任:金井 副担任:森戸

『人や周りの物への興味や好奇心を育み、思い思いに行動できる』子どもを目指します。  
8月を迎え、遊び、食事、午睡などの園の生活リズムが身に付き、手づかみ食べからスプーンやフォークが使えるようになり、排泄時には自分からおむつやズボンの着脱に挑戦しています。  
子どもたちには、一人ひとりが興味、好奇心を抱いている遊びに集中できる個別の環境づくりに配慮しています。「自分でやってみよう！」の思いを受け止め、やろうとする姿、自分なりの試行錯誤をそっと見守っています。  
また、他の園児や周りの物への興味や好奇心には、「何だろう？」の気持ちを大切に汲み取って、片言の思いや指差しなどに言葉を添えて、子どもたちの「何だろう」に丁寧に応え、知的な欲求を満たしていくように寄り添っています。  
子ども同士の間をのびのびと深めるため、子どもたちの思いが相手に伝わるよう、仲立ちをしながらか、伝えたい思いを代弁し、思いが相手に伝わる喜びが感じられるよう支援をしていきます。



### ～明るく、伸び伸び、自分らしく～【桃組 2歳児 15人】担任:栗林 副担任:倉留

『自我と感性を育み、自分から自分の思いを表現できる』子どもを目指します。  
子どもたちの「自分でやってみよう」を「やってみよう」「できるよ」と応援し、しっかり見守り、「できた」「頑張った」に「できたね」「頑張ったね」と応えて「やってみよう」の楽しさ、難しさ、達成感を重ねることで、何ごとにも挑戦していく気持ちを育てています。  
また、子ども同士は、好きな遊びや活動をとおして、自分のうれしい気持ち、嫌な気持ちを言葉で相手に伝えようと頑張っています。保育士が子どもたちの間に入って、子どもたちの言葉を拾い、会話を広げていくことで、会話のやりとりが深まり、相手の思いにも気付けるように支援をしていきます。



### ～したい、やりたい、やってみる～ 黄組【3歳児 19人】担任:松本 副担任:相原

『自分らしさを発揮し、主体的に興味・関心を深め、活動できる』子どもを目指しています。  
子どもたちが日々の保育に主体的に見通しを持ち参加できるよう、子どもたちの名前を呼んで日々の保育や教育支援、行事の内容を『ていねいに伝える』ことと、子どもたちの声や話、思いを『よく聞き』『子どもたちに応えて』遊びや教材を工夫することを行っています。  
これにより、子どもたちの活動への期待が増して、みんなが楽しめる意欲的な取り組みにつながってきています。  
また、カレンダーや時計を使って、日にちや時間、数字への興味を育みながら、見通しを持った行動につなげたり、カルタ遊びをとおして、文字への興味を深めています。  
自分だけでなく、相手を気遣い、思いやる気持ちが、一人ひとりの心の中に育まれるよう、子どもたちが大好きな『手をつなごう』の歌遊びを使って、みんなで手をつないで相手の存在を意識し、一緒に輪になって、歌って、飛んだり、跳ねたり、踊ったりを楽しんで繰り返しています。

### ～みんなつながり、思い広がる～ 青組【4歳児 19人】担任:今田 副担任:乃美

『中間の一人として生き生きと行動し、自分らしさを表現できる』子どもを目指します。  
椅子取りゲームやハンカチ落とし、カードゲームなどの集団遊びやルールのある遊びを繰り返して、遊び込んでいます。この中で、集団での約束が理解でき、仲間を思いやり遊びや生活の中で仲間の意見を聞いたり、少しの我慢がだんだんできるようになりました。  
また、園の内外で出会う方々へは、誰もが「おはようございます」「こんにちは」と、元よくあいさつでき、社会性も身に付いてきています。  
道端に咲く花や、その虫たちに目を向け、自然への興味を膨らませ、図鑑を広げては、仲間と一緒に知識を広げたり、深めたり、一人ひとりも様々な探究心を育てています。  
誰もが、周りの世界に目を向け、気付き、思い、考え、行動でき、集団の一員としても社会性や協調性を徐々に身に付け、意欲的に行動ができるよう、個を大切に見守りながら、集団での活動や役割、責任を意識できるよう支援をしていきます。



### ～思いやり、助け合い、行動する～ 白組【5歳児 17人】担任:島崎

『仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦・協力し、やり遂げられる』子どもを目指します。  
一人ひとりが、運動や創作など挑戦したいことに、挑戦できる環境を整えています。  
デイキャンプの準備などとおして、グループの仲間とのつながりを感じ、目標に向かって、一緒に行動すること、みんなで考えること、工夫すること、挑戦することを寄り添い、見守りながら大切に育んできました。  
子どもたちは、生活の中で疑問に思ったこと、分からないこと、難しいことなど、みんなで意見を出し合い、自分の思いや仲間の意見も尊重して、学び合い、助け合いながら課題に挑戦し、「できるよ」「がんばろう」と声を掛け合い、仲間と一体になって活動しました。  
これまで、育まれた仲間との絆と連帯、信頼をさらに深めていくため、一人ひとりの個性を伸ばしながら、集団、グループでの活動を保育や学習支援、運動会、生活発表会、作品展などの機会を活用して、仲間とやり遂げた成功体験を重ねられるよう支援をしていきます。